

第 21 回 (H28 年度第 2 回) 嬉野市地域公共交通活性化協議会
 第 22 回 (H28 年度第 2 回) 嬉野市地域公共交通会議

会議録

会議の日時	平成 29 年 3 月 21 日 (火) 午後 2 : 00 ~ 3 : 00				
会議の場所	嬉野市役所 塩田庁舎 3F 3-2・3 会議室				
・委員	12 名 (23 名中) ※うち 1 名は会議委員				
・オブザーバー	2 名 (3 名中)				
・事務局	3 名				
委 員	No.	出欠	氏 名	役職	所 属
	1	出	中島 庸二	会長	副市長
	2	出	池田 英信	副会長	総務企画部長
	3	欠	山口 秀一郎	副会長	行政嘱託員 (温泉 3 区) 嬉野地区代表
	4	欠	松尾 定平		行政嘱託員 (下童区) 塩田地区代表
	5	欠	山口 富男		嬉野町老人クラブ連合会副会長
	6	出	辻田 和子	監事	嬉野地区婦人会会長
	7	出	宮崎 京子	監事	嬉野町民生委員児童委員協議会監事
	8	欠	光岡 民夫		小中学校の職員 (嬉野小学校教頭)
	9	欠	池田 朋子		小中学校の職員 (嬉野中学校教頭)
	10	欠	池田 豊昭		高等学校の職員 (嬉野高等学校教頭)
	11	欠	津川 久博		高等学校の職員 (塩田工業高校教頭)
	12	出	諸井 洋		嬉野市商工会副会長
	13	出(代)	山口 守 (松尾社長代理)		乗合運送事業者 (祐徳バス(株)部長)
	14	出	遠山 秀策		乗合運送事業者 (JR 九州バス(株)嬉野支店副支店長)
	15	欠	中塚 武		乗合運送事業者 (西肥自動車(株)運行本部長)
	16	欠	山口 一広		貸切運送事業者 ((有)再耕庵タクシー業務主任)
	17	欠	太田 潤一		貸切運送事業者 (佐賀タクシー嬉野営業所長)
	18	出	桑原 幹夫		貸切運送事業者 (温泉タクシー(株)総務課長)
	19	出	平井 伸也 (江上理事代理)		佐賀県バス・タクシー協会業務課長
	20	欠	三根 正伸		運送事業者の運転手 (祐徳バス(株)運転手)
	21	出(代)	村田 義弘		鹿島警察署交通課長
	22	出	山口 善寛		杵藤土木事務所管理課長
23	出	大坪 久晃 (※会議委員)		佐賀運輸支局首席運輸企画専門官	
オブ ザー バー	1	出	前山 恵士郎 (旗生室長代理)		佐賀県新幹線・地域交通課身近な移動手段確保推進室係長
	2	欠	鐘ヶ江 豊		佐賀運輸支局首席運輸企画専門官
	3	出(代)	永松		佐賀運輸支局運輸企画専門官
事務局 (4 名)			・ 総務企画部企画政策課 課 長 池田 幸一 ・ " 副課長 小池 和彦 (担当) ・ " 副課長 小野原 博 ・ " 主 任 江口 博司		
傍聴者 (2 名)			野中 智恵美さん、中山 婦美子さん		

発言者	議 事
<p>事務局長 (池田課長)</p>	<p>1 開会 午後2時00分</p> <p>本日は大変お忙しい中にお集まりいただきいただきありがとうございます。</p> <p>只今から第21回嬉野市地域公共交通活性化協議会及び第22回嬉野市地域公共交通会議の合同会議を開催いたします。私は本日の進行を務めます企画政策課の池田と申します。本日は山口秀一郎委員、山口富男委員、光岡民夫委員、池田朋子委員、原美和委員、津川久博委員、中塚武委員、山口一広委員、三根正伸委員、から欠席の連絡があっております。</p> <p>会議に入ります前に嬉野市地域公共交通活性化協議会委員の皆様には各種団体よりご就任をいただいております。任期につきましては平成29年3月31日までとなっております。平成29年4月1日以降につきましては、4月に入りましてから委員変更の有無を確認させていただきまして、再度、平成30年3月31日までのご就任をお願いさせていただきたいと思っております。また、地域公共交通会議委員の任期につきましては平成27年4月1日から平成29年3月31日までの2年間となっておりますが、ほとんどの方が協議会委員と重複されておりますので同様の取り扱いとさせていただきたいと思っております。</p> <p>それでは次第のとおり会議を進めて参りますが、本日は約1時間程度の会議にしたいと思っております。短い時間でございますがご協議の程よろしくお願いいたします。</p> <p>協議会規約第5条第2項によりまして会長は嬉野市副市長をもって充て、第8条第2項によりまして会長が会議の議長となることと規定されておりますので、次第2あいさつのほうからよろしくお願いいたします。その後は、議長により会議の進行をお願いいたします。それでは副市長よろしくお願いいたします。</p>
<p>会 長 (中島副市長)</p>	<p>2 あいさつ</p> <p>副市長の中島でございます。本日は年度末の大変お忙しい中にご出席いただきまして誠にありがとうございます。ちょうど嬉野市も本日をもって議会が終了いたしました。それで、この会に関係があります、地域公共交通活性化協議会の補助金とか廃止路線代替バスとか生活維持路線についても全てご承認いただきましたので、今後スムーズに事業が進んでいくのではないかと考えております。それと、皆様ご存知のとおり2022年の年度内に新幹線が開通するという目標に向かって駅前整備、医療センターの整備等も一緒にさせていただいております。そういう形で交通の起点となるかと思っておりますので是非この開発についてもご理解とご協力をいただければと思います。それと今日の議題にもあるかと思っておりますけれども、特に高齢者の免許返納、少子高齢化の時代に一番の今後問題になって来るとは思っておりますし、この中でのご意見をいただければと思っております。議会でもちょっとそういう話ができました。是非いろんな形のご提案なりをしていただけて、市としてできるものはできるだけスムーズに取り組みたいと思っておりますので是非ご協力の程をお願いいたします。本日は大変ご苦勞様でございます。</p>

会 長 (中島副市長) つづき	<p>3 協議会議事</p> <p>それでは会長と言う事で、さっそく議事に入りたいと思います。それでは、議事(1)、平成28年度地域公共交通確保維持事業(乗合タクシー春日線・大野原線)の実績につきまして事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 小池	<p>はい、企画政策課の小池と言います。よろしく申し上げます。それでは、パワーポイントを用意しておりますのでそれに沿って説明をさせていただきます。資料1をご覧ください。</p> <p>～資料1(別添)に沿って説明～</p> <p>議事(1)についての説明は以上です。</p>
会 長 (中島副市長)	<p>ありがとうございました。議事(1)の平成28年度乗合タクシー春日線・大野原線実績について質疑をお願いしたいと思います。何かございませんでしょうか？</p> <p>～・～ 質疑応答 ～・～</p> <p>無いようですので、つづきまして、議事(2)平成27年度協議会補正予算(案)について事務局より説明をお願いします。</p>
佐賀県 (前山氏)	<p>春日線と大野原線で大野原線の利用者の推移が最終的には厳しくなっているわけですが、沿線住民の人口構成とかそういったところで違いがあるのですか。</p>
事務局 小池	<p>人口構成については、調査している資料を持ってきておりませんが、そんなに激減したとかいうわけではないと思います。あまり変わらないのではないかと考えております。高齢化に伴って定年退職をされた方とかが乗られなくなったのかなあと言う事で考えております。春日線にしても大野原線にしても固定客が多いみたいで、特に大野原線ですが。その方々が仕事を辞められて乗られなくなったのではと考えております。小学生とかは乗られていないので、大人の方が乗られなくなったという事じゃないのかなと考えています。</p>
佐賀県 (前山氏)	<p>春日線の方が増えている要因としては、</p>
事務局 小池	<p>すみません。そこまで調査はいたしておりませんでした。</p>
佐賀県 (前山氏)	<p>何が言いたいかというと、春日線と大野原線の違いを明らかにすることで、大野原線が減っていくことを防ぐ事が出来ないだろうかという疑問を持ったものですから、今後そういった取り組みをされることを是非お願いしたいと思います。</p>
事務局 小池	<p>わかりました。調査をいたしまして次回の運行計画に活かしていきたいと思います。ありがとうございます。</p>

	<p>ございました。</p>
<p>会 長 (中島副市長)</p>	<p>はい、貴重な意見ありがとうございました。他に何かございませんでしょうか。</p> <p>今のところ子供はどうですか。</p>
<p>温泉タクシー(株) (桑原委員)</p>	<p>春日線の方が小学生が二人か三人くらい。毎日ではないですけど。</p>
<p>会 長 (中島副市長)</p>	<p>そしたら、ただいま説明がありましたけれども、他に何かありませんでしょうか。</p> <p>質疑が無いようですので議事(1)については、ご承認いただいてよければ挙手をお願いしたいと思います。はい、全員挙手です。ありがとうございました。</p> <p>続きまして、議事(2)について説明をお願いします。</p>
<p>事務局 小池</p>	<p>はい。乗合タクシー大野原線の大野原停留所の位置の変更についてと言う事で上げております。1枚めくっていただいて、ゼンリンの地図を見ていただいてよろしいでしょうか。地図で示しております現在の停留所の位置の所から変更後の停留所の位置という所、フラッグを立てておりますけれど、そこに位置の変更をお願いするものです。</p> <p>これは、昨年大野原地区の区長さんより停留所の位置の変更をしてもらいたいという旨の申し入れがありました。地図の裏面の写真が載っているところを見ていただいてよろしいでしょうか。一番上の写真ですね。ここが現在の大野原小中学校の後ろの所になりますけれど、消防団の詰所の壁の所に椅子がありまして、そこが待合所となっているわけです。暖かい季節はいいのですが、冬場は冷たい風が吹いているところを待っておられる老人の方を見かねて、大野原の区長さんが相談をされたようです。変更後と言うのが写真の中段をご覧ください。青い色の小屋が見えます。下の写真がその小屋の拡大写真になんですけども、ここは大野原小中学校の駐車場になっているところの一角です。ここに名前が「おもやいプラザ」といい名称で呼ばれているのがわかりますが、一度確認をしてみました。ここでしたら、雨風が防げて、腰掛ける場所もあって申し分ありませんでした。区長がおっしゃるには校長の承諾も得ているので是非お願いしたいという事でした。だだ、言われたから直ぐ「はい、わかりました」とはいきませんで、教育委員会や事業者の温泉タクシーの担当者の方にも相談をしております。で、特に問題はないという事で回答を受けました。しかし、停留所の位置の変更をするには国への届け出が必要で、協議会の承認を受けなければならないという事でしたので今回提案をさせていただきます。議事(2)の説明については以上です。</p>
<p>会 長 (中島副市長)</p>	<p>はい、ありがとうございました。実は、私も年末、消防の特別警戒があつてここに回ってきております。ここは、非常に寒いところです。風が後ろから吹くようなところで、事務局から説明がありましたように、暖かい時はいいのかもしれませんが寒い時は消防団の方も巡視するときは寒くて大変なところです。そういう事でご理解いただければと思います。このことについて、御意見ありませんでしょうか。</p>

	か。
<p>祐徳バス(株) (山口委員)</p>	<p>すみません。お尋ねですけれど。私も最近行ってないんで、この地図でですよ、三方向ありますけど轟小学校に行く道はどっちになるんですか。上の方の道。</p>
<p>事務局 小池</p>	<p>上の方に行く道が、大村嬉野線で下っていく、轟小学校の方に下っていく道になります。</p>
<p>会 長 (中島副市長)</p>	<p>他に何かありませんでしょうか。質疑が無いようですので、地元の区長さんからの要望もあっておりますので、乗合タクシー大野原線の大野原停留所の位置の変更につきましては御承認いただける方は挙手をお願いします。どうもありがとうございます。そうしたら、変更できるようにしたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>続きまして、議事(3)の平成29年度協議会事業計画(案)、当初予算(案)につきまして事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局 小池</p>	<p>はい。資料3をご覧ください。平成29年度協議会事業計画(案)と当初予算(案)についてご説明いたします。</p> <p>まず一枚めぐりまして、事業計画(案)の方です。1番目と4番目で、「乗合タクシーなどの運行内容」や「平成30年度の生活交通確保維持改善計画」などについてご協議いただく協議会を予定しております。開催数は年3回程度を予定しております。次に、2段目の乗合タクシー運行事業としまして、今年度も昨年度と同様、春日地区及び大野原地区の乗合タクシーの運行事業を行うこととしております。最後に3番目で乗合タクシー春日線・大野原線の自己評価ですが、今年度同様12月から1月の間で協議会で自己評価を行い、その結果を九州運輸局に提出する予定です。</p> <p>続きまして、一枚めぐっていただきまして、予算(案)をご覧ください。</p> <p>まず、歳入の部をご説明します。1段目の負担金としまして、嬉野市からの557万円を計上しております。前年度と比べまして611,000円マイナスとなっております。</p> <p>次に国からの補助金につきましては、0円で表示をしております。昨年度までは計上しておりました。しかしこの補助金は、温泉タクシー(株)が申請を行い温泉タクシー(株)の通帳に入金されるものです。活性化協議会に直接入る補助金ではありませんでした。今回、温泉タクシー(株)の運行費から差引をしてお支払いをするという格好に変えようかとこのような計上をさせていただいております。そこで、今回は負担金のみということで557万円と言う事になります。</p> <p>つづきまして歳出の部です。こちらの方で詳しく説明させていただきます。会議費103,000千円、これは昨年度同様委員報酬として、3回の協議会開催に伴う6名様分の委員報酬を計上しています。その下の事務費といたしまして、監査委員報酬11,400円、需用費(消耗品)28,000円、役務費2,160円と648円を合わせまして43,000円を計上しております。その下の事業費で、乗合タクシー春日線・大野原線の温泉タクシーへの運行委託料542万5千円を計上しています。この根拠といたしまして、29年度は春日線・大野原線の運行を年間772便と予定しておりますので、その運行</p>

	<p>経費から運送収入見込額を差し引いて 694 万 3 千円。そこから歳入の方でお話ししました、温泉タクシー(株)に振り込まれる国庫補助金分(内定額 151 万 8 千円)を差し引きまして 542 万 5 千円を計上しています。昨年度までは国庫補助金分を上乗せして運行委託料を支払い、年度末に国庫補助金分を返してもらっていたこととなりますが、今年度より差し引きで支払を行いたいと考えています。歳出合計で 557 万円となります。</p> <p>以上、H29 年度協議会事業計画(案)及び当初予算(案)として提案させていただきます。</p>
<p>会 長 (中島副市長)</p>	<p>はい。それでは、ただいま説明のありました、議事(3)の平成 29 年度協議会事業計画(案)及び当初予算(案)につきまして質疑をお願いしたいと思います。何かございませんでしょうか。</p> <p>私から、昨年度の 28 年度と予算の作り方を変えてあるんですけど、ちなみに他所もそがん変わってと。</p>
<p>事務局 小池</p>	<p>他所を参考にした訳ではありませんで、国庫補助金と言う名目でうたって歳入してありますけれども実際はこの国庫補助金は温泉タクシー(株)がもらう金額で温泉タクシー(株)に振り込まれている訳なんですよね。それを温泉タクシー(株)からまた協議会がもらっている状況だったんですよ。協議会から運行費と国庫補助金を足して温泉タクシー(株)に振り込んで、その後国庫補助金の分を協議会の方に戻してもらおうというやり方をやっていたので、最初から差引いてお支払いをすればと言う事です。</p>
<p>会 長 (中島副市長)</p>	<p>それはわかりましたが、こういう取扱いでよかったかという事。</p>
<p>事務局 小池</p>	<p>今まで国庫補助金でないのを国庫補助として受け入れていたという事がどうなのかという事だと思います。</p>
<p>会 長 (中島副市長)</p>	<p>他に、何かございますでしょうか。それでは、質疑がないようですので、平成 29 年度嬉野市地域公共交通活性化協議会事業計画(案)及び当初予算(案)につきましてご承認いただける方は挙手をお願いします。どうもありがとうございます。全員挙手いただきましたので議事(3)についてはご承認いただきました。ありがとうございました。</p> <p>色々ご審議いただきありがとうございました。無事に議事が終了しましたので、わたくしの進行はこれで終了したいと思います。この後は、事務局の方で進行させていただきます。</p>
	<p>4 会議議事</p>
<p>事務局長 (池田課長)</p>	<p>はい。それでは、レジユメの 4 となりますが、ここからは地域公共交通会議として進めて参ります。4 の「廃止路線代替バス」について担当の小池よりご説明させていただきます。</p>
<p>事務局 小池</p>	<p>はい。資料と書いております『嬉野市廃止代替バスの現状と目標』をご覧ください。パワーポイント</p>

	<p>トでもお示ししますのでよかったですらそちらもご覧ください。</p> <p>【資料(別添)に沿って説明】</p> <p>廃止代替バスについてのご説明は以上でございます。</p>
<p>事務局長 (池田課長)</p>	<p>廃止代替バスにつきまして、説明をいたしました。何か質疑がありましたらお願いいたします。どうか質疑等ございませんでしょうか？後でも結構ですので、次に「JR九州バスダイヤ改正」と「運転免許自主返納者にタクシー運賃1割引」の2件について併せて報告させていただきます。先程の廃止代替バスについても、もし御質問があればこの後でお受けしたいと思います。</p>
<p>事務局 小池</p>	<p>それでは、まずJR九州バスダイヤ改正の方で説明と言いますか、御報告をさせていただきます。</p> <p>JR九州バスの方から今年の1月12日に市役所の方に来られて、ダイヤ改正を行うという事で報告に来られました。時刻表2枚裏表あるものを配布しております。</p> <p>(ダイヤ改正の箇所を確認する)</p> <p>JR九州バスダイヤ改正については、以上です。</p> <p>もう一つ報告があります。運転免許自主返納者にタクシー運賃1割引と言う事でチラシを入れております。2月8日に陸運支局長や県バス・タクシー協会の方、タクシー業界の方が見えられて説明をされました。見てのとおりなんです、運転免許証を自主返納された方はタクシー運賃が1割引になるという制度の説明を受けました。このチラシについては、嬉野市の方では班回覧をしております、ほとんどの方が見られております。市役所の受付とか公民館、保健センターにもこのチラシを置いてありますので御覧になった方はたくさんおられるんじゃないかと思っております。私の方からは、以上です。</p>
<p>事務局長 (池田課長)</p>	<p>はい、最初に説明がありました廃止代替バス、JR九州バスダイヤ改正、それと運転免許自主返納者にタクシー運賃1割引ですね。この三つについて何か御質問等あればお願いします。</p>
<p>県バス・タクシー 協会平井氏</p>	<p>質問ではありませんが、免許自主返納のことで若干説明させていただければと思います。このような貴重なお時間をいただきましてまたPRいただきまして誠にありがとうございます。佐賀県では平成21年の3月ぐらいから、こちらの嬉野市所属の業者さんを始め、主に杵藤地区を中心に11社でタクシーの運転免許返納割引というのをやっていたところです。高齢者の交通事故の防止の観点からこれを是非佐賀県全域でやろうじゃないかと言ふに盛り上がりまして、このチラシのとおり3月12日から一斉に開始をしたところでございます。すぐお客様の方からも御照会いただいております、ありがたく感じておるところであります。1割引と言う事で、これをすればすべて移動手段が確保されて解決するという訳ではございませんが、運転免許返納のきっかけになればありがたいと言う事でございます。是非、御高齢の方とか御家族に御高齢の方がいらっしゃるいましたら、運転しない方がいいよと言う方がいらっしゃる是非御紹介いただければありがたいと言う風に思っております。割引は、運転経歴証明書をお持ちの方が1割引になるという仕組みでございます。ただ、</p>

	<p>今後の課題がございまして運転免許証を更新せずに期限が切れた方とかもたくさんいらっしゃって、期限が切れてしまうと運転経歴証明書がいただけないという仕組みになっておりまして、同じ事故防止の観点から免許を返納された方に対して、今の時点ではどうしても救う仕組みにはなっていないと言うのが今の課題になっております。今後検討していく必要があるのかなと思っております。今後返される方は、同じく3月12日から免許制度が、認知症の検査とか更新の基準が厳しくなったようで、今後運転免許を返されるという事があれば運転経歴証明書の手続きをされて交付を受けておかれた方が何かとよろしいのかなと思います。是非ご利用いただければと思います。ありがとうございました。</p>
<p>事務局長 (池田課長)</p>	<p>他に何か御意見とか御質問をお受けしたいと思っておりますけど、どなたかいらっしゃいますか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
<p>佐賀県 (前山氏)</p>	<p>廃止代替路線について、牛の岳線と下吉田線の2つの路線を昨年度に検討会をさせていただいたのですが、牛の岳線は大茶樹があるということで観光にも役立つんじゃないかと言う事で、方向性としては観光との連携を挙げられていたようですが、具体的な打ち合わせ等、予定とかそういったものがありましたら教えていただきたい。と言いますのは、県も唐津市とか交通の見直しをする際に参加させてもらっていますので、御予定を教えてください。</p>
<p>事務局 小池</p>	<p>今、嬉野の方では観光DMOと言うのが組織されまして、観光の協議をされております。当然、観光目的で大茶樹の話も出てきておりました。去年は、観光の担当との話し合いはできておりませんでしたけれども、今後そのような話し合いが持てればということで提案させていただいておりますので是非取組みを行っていきたいという事で思っております。現時点で、どうするのかとか観光担当と話がついている訳ではありません。</p>
<p>佐賀県 (前山氏)</p>	<p>是非、県にも一声かけていただきたいと思っております。</p>
<p>事務局 小池</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>事務局長 (池田課長)</p>	<p>他に、御質問、御意見等はないでしょうか。</p>
<p>中島副市長</p>	<p>すみません一つ。1割引ですね。これは、免許証の更新の時に葉書が来ますね。ここら辺の働きかけはされているのですか。</p>

<p>県バス・タクシー協会平井氏</p>	<p>県警本部を通じまして、チラシとかポスターを大量に一括してお渡しをしております。免許の更新の時に各警察署で配布いただいている状況になります。葉書にこの仕組みを盛り込めるかと言うと、センターのご判断になるかと思うのですが、そこまでは今時点では早いのかなという感覚は持っております。また嬉野地区の交通安全協会もとても昔から熱心にPR公民館とか敬老会とかの活動の時間も紹介されていらっしゃるの、特に今回このチラシが追加で欲しいとおっしゃっていただきまして先月お渡ししたところですよ。公民館とかにおいていただいている状況です。</p>
<p>中島副市長</p>	<p>あの葉書に何か一言入れてもらえればですね、結構見て更新しなければいけないと言う時が一番チャンスじゃなからうかと思っておりますので、その辺はひとつすり合わせをせんといかんとでしょうけど。実は私も来てますけど、まだ返納は早いと思うんですけど、実際後期高齢あたりになった時ですね、更新に来られた時にこの文言がどこかに入ればなあと言う感じがあるんですけどね。</p>
<p>県バス・タクシー協会平井氏</p>	<p>高齢者の方は、高齢者講習を受けなければならないような仕組みになっていまして、今回自動車学校にも県警を通じて周知いただくようになっています。葉書については、私たちからは何とも言えないという風に思っております。</p>
<p>事務局長 (池田課長)</p>	<p>他に何かありませんでしょうか。今も高齢者の免許証の自主返納の話がありましたが、非常に事故等の新聞報道があっております。全国的に見ても地域公共交通のあり方が話題になっております。今後、この地域公共交通がどのような形がいいのか、全国の市町村喫緊の課題でありますし嬉野市にとりましても住民の方のニーズをきちっと把握いたしまして取組んで行く必要があると思っております。各市町実情が全く異なります。嬉野市がどういう形、一番いい形なのか、これは関係の皆様と一緒に協議させていただければと思いますので、是非御協力の程をお願いいたします。</p> <p>それでは、意見も無いようでございますので、最後に来年度、29年度の予定として、まずは6月下旬に協議会を開催し、『平成30年度生活交通ネットワーク計画』を協議していただく予定です。その後も必要に応じて年2~3回程度協議会を開催したいと考えております。以上でございます。</p> <p>それではこれを持ちまして、第21回嬉野市地域公共交通活性化協議会及び第22回嬉野市地域公共交通会議の合同会議を終了いたします。今日はどうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">(散 会)午後3時00分</p>

